



警報・緊急出動、過去3年間(23、24、25年)の記録より

	警報箇所	原因	是正処置
1	中継ポンプ異常警報	点検完了後、ブレーカーの上げ忘れ	ブレーカーを上げて異常警報解除となる
2	天井臭気ファンより水漏れ	臭気ファン結露排水管の閉塞	排水管の清掃で閉塞解除となる
3	ハイブリッド循環ポンプ異常	循環ポンプ仮設配管の離脱による水漏れ	ポンプ配管を接着接合で漏れはなくなる
4	放流ポンプ満水警報	ポンプに漏れた担体濾材が詰まる	詰まった濾材を解除し、担体の漏れを防止する
5	攪拌ブロウ異常警報	駆動用Vベルト切断でモーター軸に絡み	Vベルト交換で正常となる
6	中継ポンプ異常警報	フロートスイッチの作動不良	フロートスイッチの交換で正常となる
7	流入ポンプ満水警報	フロートスイッチの作動不良	フロートスイッチの交換で正常となる
8	沈殿槽ホッパー破断	地震の影響か、FRP強度は……。	破断部を修繕し正常となる
9	調整ポンプ満水警報	ポンプに異物(繊維質)が絡み	異物を除去し正常運転となる
10	放流ポンプ満水警報	ポンプに漏れた担体濾材が詰まる	詰まった濾材を解除し、ポンプ槽に漏れた担体除去
11	インバート柵より溢れる	インバート柵で閉塞	閉塞物除去で正常に溢流解除となる
12	放流ポンプ満水警報	着脱装置から水漏れで吐出能力が不足	ポンプを着脱部に装着し正常運転となる
13	流入ポンプ満水警報	ポンプが固形油脂分を吸い込み吐出不足	吸い込み油脂分を除去し正常となる
14	調整ポンプ満水警報	ポンプに異物(繊維質)が絡み	マグネット・サーマルをリセットし正常となる
15	ジェットポンプ過負荷	ポンプの漏電、インペラー離脱	ポンプ交換で正常となる
16	臭気	屋上の排気・臭気が1階へ	HVシステム設置で臭気問題解消となる
17	ジェットポンプ過負荷	モーター軸変形	ポンプ交換で正常となる
18	マンホール蓋より臭気漏れ	マンホールのボルト締め緩く	ボルトの締め増しで臭気治まる
19	ジェットポンプ過負荷	ポンプの漏電、インペラー離脱	ポンプ交換で正常となる
20	主ブレーカー・ダウン、警報	ブレーカーの容量がギリギリ	ブレーカー交換で正常な状態となる
21	中継ポンプ異常警報	油脂分でフロートスイッチ作動せず	油脂分を除去し正常運転となる
22	制御盤、異常警報	電子基板が損傷故障	基盤を通さず、応急配線で機器を自動運転する
23	流入ポンプ異常警報	フロート故障で交換許可が出ず……。	中古品のフロートで対応し正常運転となる
24	処理槽破損による水漏れ	地震の影響か……。	修繕し正常となる
25	放流ポンプ過負荷漏電警報	経年劣化による故障	ポンプ交換で正常となる
26	放流ポンプ満水警報	点検終了後、ブレーカーの上げ忘れ	ブレーカーを上げて異常警報解除となる
27	放流ポンプ満水警報	フロートの位置が悪く、フロート作動せず	フロート吊り下げ位置を変更し正常となる
28	ブロウ異常音	ローターに異物が絡む	ローターを清掃しスムーズな運転となる
29	悪臭	異常水位で固液分離槽の臭気が漏れた	移行部の閉塞を解除し正常水位を確保し悪臭解除
30	ジェットポンプ過負荷	モーター軸変形	ポンプ交換で正常となる

※ レビュー

警報の大半は長期間稼働の汚水中ポンプから発するものでした。その原因の1つはポンプそのものの故障によるもの、2つはフロートスイッチの故障によるもの、3つはポンプに異物が絡むものに分けられます。ジェットポンプの故障も1現場での発生であり件数としては多いです。警報の予防措置はポンプ及びフロートスイッチの適正な更新と判断できます。

水物語No6 東京の上水、神田川の源は井の頭公園内の湧水！

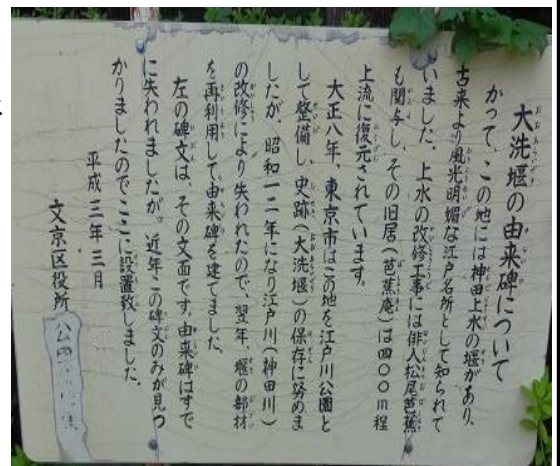
江戸時代都市の拡大に伴い水の需要も拡大した。しかし江戸は井戸を掘っても海水が混じり良水を得ることが困難でした。こうした事情から上水道の建設が始まり、1590年の神田上水の開設から、玉川上水、本所上水、青山上水、三田上水、千川上水の6つがつくられました。だが江戸時代を通して使用されたのは神田上水と玉川上水の両水に限られ、その他の上水は突然一斉に廃止となっていました……。

神田川は井の頭公園内の湧水で始まる江戸の上水でした。途中補助水源として、善福寺池を水源とする善福寺川と淀橋で玉川上水の分水と更には妙正寺川と合流して小石川の関口大洗堰に至る。関口大洗堰は流れてきた水を左右に分水し、左側を上水として小石川後楽園方面に流し、右側を余水として分水し江戸川と呼ばれるようになった。江戸川の名称は昭和40年に河川法で廃止となり神田川に統一した。

また、井の頭池の湧水を「お茶の水」と言うが、これは徳川家康がこの地を訪れ点茶の水としてこの湧水を使ったことからの命名とされています。

高度成長期には生活排水の影響で洗剤の泡が水面に浮かび「死の川」との不名誉な肩書もあった。今は下水道が完備し水質は大幅に改善して、鯉や鮎などが生息する清流となっています。今年も4月には両岸に桜が咲き誇り私たちを楽しませてくれました。

参考資料 : ウィキペディア フリー百科事典



汚泥ゼロ・臭気ゼロ

ハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス

